施工パッケージ型積算方式に関する
材料単価の補正について

積算単価算出の補正式に用いる代表材料（東京単価）と地区材料の規格単位が異なる場合は、施工パッケージの積算単位に合わせて各々の単価を補正し、補正式に使用しています。

○単価補正の計算例（単価は仮想単価）

J～1500　路側工（据付け）積算単位：m

１）車歩道境界ブロックの場合

代表材料

規格　　：Ｂ種（180/205×250×600）
標準使用量：165 個/100m
単価　　：1,200 円/個
補正単価　：1,200×1.65＝1,980 円/m

地区材料

規格　　：車道縁石Ｉ型（200/260×250×790）
標準使用量：125 個/100m
単価　　：3,000 円/個
補正単価　：3,000×1.25＝3,750 円/m

２）地先境界ブロックの場合

代表材料

規格　　：Ａ種（120×120×600）
標準使用量：165 個/100m
単価　　：500 円/個
補正単価　：500×1.65＝825 円/m

地区材料

規格　　：舗装止縁石（150×170×590）
標準使用量：167 個/100m
単価　　：1,110 円/個
補正単価　：1,110×1.67＝1,853.7 円/m

※補正単価の単位整理（四捨五入等）は行いません。